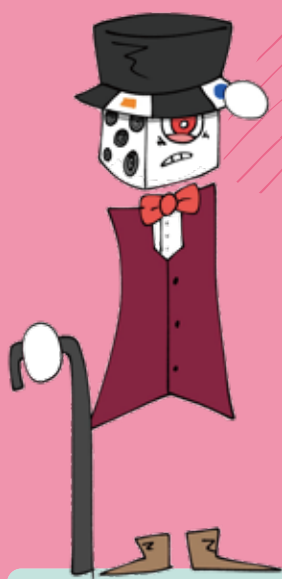


「子どもの声」をまんなかには、
今と未来をつくるフォーラム

「なんでやねん！」

からはじめよう



2026年2月7日(土)

時間：10:00～17:00

場所：ドーンセンター

(大阪府立男女共同参画・青少年センター)

定員：80名(先着順)

参加費：1,000円(資料代)当日受付にてお支払いください。

25歳以下は無料。

*17:30からの交流会は先着30名。別途、参加費が必要です。

パネル展も開催中

スケジュール

受付 9:30～

全体会 10:00～12:45

分科会 14:00～15:30

まとめ 15:45～17:00

交流会* 17:30～19:30

全体会

1F パフォーマンススペース

【子どもの権利】

子どもの権利条約をあそんで・知ろう！

ファシリテーター：子どもの権利条約 関西ネットワーク

子どもの権利条約を幅広く推し進め、子どもを一人の人間として尊重し、
子どもの権利を守り保障することを目的に2015年から活動する市民団体。

全国の子どもの「なんでやねん」という声を集めてつくったすごろくの体験・ワークショップを通して、子どもの権利を遊んで学びます。みなさんの「なんでやねん！」という声を会場に響かせて1日ははじめましょう。

「子どものけんり なんでやねん！すごろく」について

子どもたちと2019年に開発。以来、全国で3,000セット以上(2025年時点)が活用されている。遊びながら子どもの権利を学べることから、行政主催の子ども会議や小・中学校、大学の授業や居場所等でも幅広く活用され、子どもの意見表明を支える実践教材としても注目されている。

【基調講演 & トークセッション】

子どもたちの「なんでやねん！」に学ぶ

基調講演：こどもまんなか社会とは～こどもの権利、こども施策の現在地～



こどもまんなか

こども家庭庁

中原茂仁さん こども家庭庁長官官房参事官(総合政策担当)

2002年内閣府入職。

少子化対策や男女共同参画、沖縄・北方領土問題、国際平和協力(PKO)など幅広い政策分野に携わってきた。

2021年からこども政策に関わり、2023年のこども家庭庁設立時には少子化対策室の室長を務め、2024年より長官官房参事官(総合政策担当)として、こども政策全般の総括を担っている。

トークセッション：関西で活動するお二人の投げかけで、さらに話を深めます。



北野真由美さん 子どもの権利条約関西ネットワーク共同代表／NPO法人えんばわめんと堺/ES代表理事

子どもの人権を尊重し、子どももおとなも自分を大切に安心して生きることができる地域社会をめざし、就学前の子どもから小・中・高・支援などさまざまな学校現場でエンパワメント(エンパワメントファシリテーター)を務める。



田中文子さん 公益社団法人子ども情報研究センター共同代表／泉南子どもの権利救済委員会委員

子どもの人権相談に取り組んできて、現代社会の理不尽さを強く感じます。「こども基本法」をテコに、子どもたちといっしょに、あきらめずに理不尽な社会を変えていきたい。

分科会の詳細は裏面へ

主
協
協
後

主催：ドーン事業共同体(ドーンセンター指定管理者) 子どもの権利条約 関西ネットワーク

力：一般財団法人大阪教育文化振興財団、NPO法人えんばわめんと堺/ES、NPO法人CAPセンター・JAPAN、NPO法人KARALIN、公益社団法人子ども情報研究センター、NPO法人こどもの里、わが町にしなり子育てネット、一般社団法人檸檬新報舎

賛：一般社団法人生命保険協会 大阪府協会

援：こども家庭庁／大阪府／大阪府教育委員会／大阪市／大阪市教育委員会



ドーンセンター



子どもの権利条約
関西ネットワーク



分科会 A 子どもの居る場所

1F パフォーマンススペース

子どもが安心して、ありのままの自分でいられること。その姿が尊重され、話し、心から遊べること。それは、子どもの「願い」であり「権利 (rights)」です。けれど私たちはそれを保障できているでしょうか。ここでは子どもの権利条約第 31 条「休息・余暇、遊び、文化的・芸術的生活への参加」に焦点をあて、子どもの声 (views)「なんでやねん」に耳を傾けます。



吉岡洋子さん (コーディネーター)

関西大学社会学部教授
寝屋川市子どもの権利に関する条例案策定審議会会長
専門は子ども家庭福祉と地域福祉論、主な研究フィールドはスウェーデン。子どもの権利実現のための仕組みや実践のあり方を国際比較の観点から探求しています。



川口裕之さん

NPO 法人 Kid's ポケット代表理事 / 桃山学院大学非常勤講師
堺市立ビッグバン敷地内「冒険遊び場ちよとパン」の運営を 25 年継続中。大学、専門学校にてイギリスにおける「プレイワーク〜子どもの遊びに関わる大人のあり方」の授業を実践中。



阪上由香さん

NPO 法人 FAIR ROAD 代表理事
校内居場所活動を通して、一人ひとりの子どもが安心して意見を言える環境を整え、「対話から始まる支援」を実践。地域と連携した若者支援を展開しています。



今井直人さん

NPO 法人 Dive in! 代表理事・ユースワーカー
元芸人。2019 年より尼崎市立ユース交流センターにて勤務。2024 年に独立し地元の神戸を拠点に学校や地域で若者が納得感を持って生きられる社会を目指した場づくりを行っています。

分科会 B 男女共同参画と子ども・子育て支援〜ジェンダー視点を活かした取り組み〜

4F 中会議室 3

子どもが育つプロセスで、広い意味での〈性〉(ジェンダー／セクシュアリティ) とのかかわりは、避けて通ることのないものです。ここでは〈性〉について、自分も相手も大切に、より良い関係づくりをめざすものと幅広くとらえる〈包括的性教育〉の考え方を参考に、日常のかかわりのなかで私たちができることを考えます。



三宅克英さん (コーディネーター)

eトコ・プロジェクト事務局長
大阪教育文化振興財団 子ども・子育てプラザ S V
社会福祉士／産業カウンセラー。養育里親経験あり。現在は主に子ども・子育て支援分野に携わりながら、男性相談活動や交流スペースの運営などにも取り組んでいます。



直塚美穂子さん

公認心理師・臨床発達心理士
“人間と性”教育研究協議会会員、心理発達の相談ゆるり
子育て相談のほか、放課後等児童デイサービスで発達のアセスメント、個別療育に加え、包括的性教育を実践。日常に包括的性教育をどう組み込んでいくかを目標に日々奮闘しています。



九門リリ子さん

ボラリス (交野市子ども家庭サポーターの会) 代表
子育ての中でさまざまな地域活動に関わるうち、若い頃には思ってもいなかった子育て支援の現場に今は身を置いています。



山條敦子さん・脇坂加代子さん

北区 / 平野区子ども・子育てプラザ (運営: 大阪教育文化振興財団)
大阪市には 0 ～ 18 歳までの子どもとその保護者が安心して集い、ともに育ちあえる子育ての拠点施設があります。そこでのパパの参画実践や WS「カラダ・からだ」を紹介します。

分科会 終了 後



まとめの時間 (分科会報告と参加者の交流・語り合い)
〜どんな交流となるかは、おたのしみに〜

パネル展 2/3 ～ 3/1 まで

子どもの権利に関する情報 (活動・イベント・アクティビティ・絵本など) を紹介したパネル展を開催中。
会場: ドーンセンター 1F ロビー

交流会

別途 参加費が必要です。(18 歳以上 2,000 円・18 歳未満 1,000 円)
※当日受付にてお支払いください。

軽食をとりながら、参加者が自由に交流し、つながりあう時間です。
「なんでやねん! すごくろ」など、様々なアクティビティを紹介するコーナーも用意!
皆さんの現場で、子どもの権利を広げていく手立てを持ちませんか。



フォーラム・交流会は事前のお申し込みが必要です。
お申し込みはこちらから



問合せ先

大阪府立男女共同参画・青少年センター (ドーンセンター)

〒540-0008 大阪市中央区大手前 1-3-49
TEL 06-6910-8500 FAX 06-6910-8775 <https://www.dawncenter.jp/>

●開館時間 火～土: 9:00 ～ 21:30 日祝: 9:00 ～ 17:00
●受付時間 火～土: 9:00 ～ 20:00 日祝: 9:00 ～ 17:00